

## 台風 10 号被害への対応について

### 1 被害の状況（老人福祉施設・介護事業所等）

#### (1) 人的被害

9 名死亡（岩泉町の高齢者グループホーム 楽ん楽ん（らんらん））

#### (2) 物的被害

	床上	床下	停電	断水	一部破損等	再開施設／ 被災施設（実数）
宮古市	4		5	9	1	15/17
岩泉町	2		6	6		6/8
田野畑村	1		2			3/3
久慈市	5		2	1		7/7
普代村			1			1/1
洋野町			1	1		1/1

注）同一施設で複数の被害があった場合は重複計上

### 2 県の対応（高齢者福祉分野）

#### (1) ふれんどりー岩泉の入所者への支援

岩泉町の介護老人保健施設「ふれんどりー岩泉」は、8 月 30 日に河川の氾濫により 2 階付近まで浸水したが、入所者 85 名及び職員は 3 階に避難し全員無事であった。施設が大きな被害を受けたことから、入所者は翌 31 日に、矢巾町の県消防学校までヘリコプターで搬送された後、盛岡圏域内の老人保健施設 8 箇所及び内陸部の病院 5 箇所へ移った。

県では、これらの方々に関して、当面必要となる肌着・タオル・紙おむつ等の物資の調達に係る調整を実施。物資は、関係する全施設・病院へ 9 月 5 日から 9 日までの間に配送された。

また、病院に入った 58 名の方々が早期に適切なケアを受けられるよう、県内の他の老人保健施設への入所に向けた関係機関との調整を実施。本人・家族の同意が得られ、病院と施設との間で調整がついた方から順次施設へ移っていただいております、当初搬送された病院に留まっている方は 9 月 27 日現在で 4 名となった。

#### (2) 岩泉町への職員派遣

9 月 12 日、政策地域部市町村課を通じて、岩泉町の介護認定調査事務に遅れが生じていることから、市町村職員の身分を有する介護認定調査員の派遣要請があり、関係各市町に派遣を依頼した。

4 市町からの派遣の申し出に基づき、岩泉町と調整を行い、9 月 26 日から派遣職員による事務支援が行われている。（9/26～10/19 までのうち、延べ 10 日間支援予定）

また、10 月以降、岩泉町の認定調査員（非常勤職員）が不足（1 名退職）する見通しが伝えられたことから、後任の採用に向けて、近隣市町村に居住する有資格者に係る情報提供を関係団体等に呼びかけている。（これまで 1 件情報提供済み）

#### (3) 施設の安全対策

##### ア これまでの対応状況

入所・通所型の介護サービス事業者は、国が示した指定基準（参酌基準）において、非常災害に関する具体的計画の策定、関係機関への通報・連絡体制の整備、定期的な避難・救出訓練を行わなければならないこととされている。

県では、県が指導監督権限を有する事業所のうち特別養護老人ホーム等の**社会福祉施設**については**2年に1回実地指導**を行い、非常災害対策や安全確保の状況に関して確認や指導を実施。

また、認知症グループホーム等の**地域密着型サービス事業所**については、**市町村が指導監督権限を有**しており、県では、市町村に対する指導・助言について、昨年度国から事務移管を受け、**市町村の担当職員を対象とする研修会の開催**のほか、必要に応じ**市町村との合同による施設指導**などを実施している。

#### イ 被災後の対応

今般の事態を踏まえた国からの通知を受け、各**社会福祉施設等**や**市町村あてに文書**を発出し、**非常災害対策及び入所者等の安全の確保**についての**注意喚起**や、避難準備情報が発令された場合など**災害発生の危険が高まった場合に特に徹底すべき事項**について周知を行った。

さらに、国からは、介護保険施設等における非常災害対策計画の策定状況や避難訓練の実施状況を点検するよう各自治体へ求める通知が発出されており、これらを踏まえて、**県としても今後、市町村や施設に対する指導・助言をより一層入念に行っていく。**

#### 【社会福祉施設等あてに発出した安全対策に関する通知】

- ① 社会福祉施設等における非常災害対策及び入所者等の安全の確保について  
(平成 28 年 9 月 2 日付け保福第 254 号岩手県保健福祉部長通知)
- ② 今後の水害等に備えた警戒避難体制の確保について  
(平成 28 年 9 月 6 日付け岩手県保健福祉部長寿社会課総括課長通知)
- ③ 介護保険施設等における利用者の安全確保及び非常災害時の体制整備の強化・徹底について (平成 28 年 9 月 15 日付け長第 605 号岩手県保健福祉部長寿社会課総括課長通知)